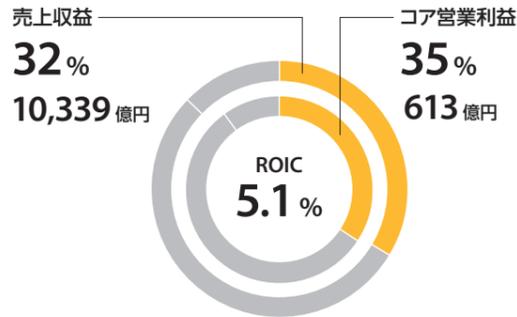


機能商品分野

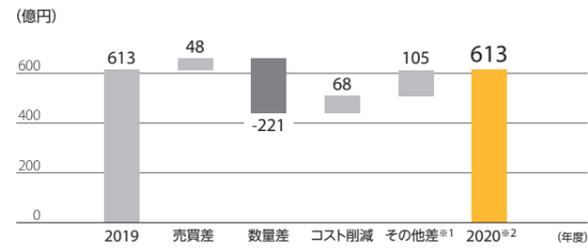
グループの幅広い製品・技術を協奏させながら、差異化、高機能化を図り、それぞれの市場に対し多様なソリューションを提供していきます。



機能商品セグメント

売上収益は1兆339億円(前期比△842億円)となり、コア営業利益は前期並みの613億円となりました。下期以降、需要は回復しつつあるものの、前期比では高機能成形材料の高機能エンジニアリングプラスチック等の自動車向けの販売数量が減少したことに加え、高機能ポリマーの、フェノール・ポリカーボネートチェーンにおいて定期修理等の影

機能商品 コア営業利益増減要因



※1 その他には、受払差・持分法投資損益差などの金額が含まれています。
※2 2020年度のコア営業利益613億円は、セグメント変更前の数値です。

響により販売数量が減少したこと等により、売上収益は減少しました。

当セグメントのコア営業利益は、高機能成形材料等の自動車向けの販売数量が減少したことや高機能ポリマーにおける定期修理の影響があったものの、下期以降の需要回復に加え、フェノール・ポリカーボネートチェーンの市況が上昇したこと等により、前期並みとなりました。

ポリエステルフィルム

- 高機能ポリエステルフィルム用途におけるマーケットポジションとソリューション能力

高機能フィルム

- バリア性、多孔化、多層化等の機能付加技術

高機能エンジニアリングプラスチック

- 素材から成形加工までの事業群におけるグローバルネットワーク

炭素繊維

- 炭素繊維から中間基材・コンポジットをカバーする垂直統合バリューチェーンを活かした事業展開

半導体

- 高純度化と微小異物をコントロールする品質管理技術
- 半導体製造装置部品洗浄サービスをグローバル展開

電池材料

- 電解液:電池の高性能を可能にする機能性添加剤の開発力

強み S

ポリエステルフィルム

- 想定を上回る短期需要変動に対する対応力

高機能フィルム

- 国内中心の事業展開

高機能エンジニアリングプラスチック

- 世界各地域の社会・経済・為替リスクが広範・直接的に影響

炭素繊維

- 海外収益比率の高さによる為替変動影響

半導体

- 特徴ある製品を保有するも、半導体業界での知名度確立は途上

電池材料

- 原料サプライチェーンの中国への依存

弱み W

ポリエステルフィルム

- 市場ニーズの高度化および複合化

高機能フィルム

- 高機能製品の海外事業展開

高機能エンジニアリングプラスチック

- 産業用途(航空機、半導体等)、医療分野での需要拡大

炭素繊維

- 産業用途の需要拡大(自動車、風力発電、压力容器等)

半導体

- 急速な市場拡大と細線化、積層化に伴う新素材への需要

電池材料

- 爆発的に成長する市場

機会 O

ポリエステルフィルム

- 破壊的な技術革新に伴う既存市場の縮小

高機能フィルム

- 中期的な国内需要の減少

高機能エンジニアリングプラスチック

- 3Dプリンター等の新技術普及による既存市場縮小

炭素繊維

- 新興国品の品質向上による競争激化

半導体

- 現地化生産への強いプレッシャー

電池材料

- 原料価格の高騰による損益圧迫

脅威 T



主要事業・製品(セグメント変更に伴い、2021年度より事業名称を変更しました)

※セグメント変更後の数値です。

ポリマーズ&コンパウンズ 2020年度売上収益 **2,718** 億円※ 2020年度コア営業利益 **150** 億円※

ポリマーズ 機能性樹脂、サステナブルポリマーズ(生分解性樹脂、バイオエンプラ、ポリカーボネート、PBT、エポキシ樹脂)、アセチルポリマーズ(EVOH,PVOH)

- 機能性樹脂** 熱可塑性エラストマー、機能性ポリオレフィン、塩ビコンパウンドを中心とした幅広い品揃えで医療、産業から日用品まで顧客のイノベーションに貢献します。
- ポリカーボネート** 独自の製造プロセス技術とポリマー設計技術、コンパウンド技術を融合し、アジアトップクラスのシェアでグローバルに事業を展開しています。

コーティング・アディティブス コーティング材料、機能性添加剤、ファインケミカルズ

- コーティング材料** 高度な合成、配合および評価技術に基づき、塗料、インク、粘接着剤等の分野で、環境対応も強く意識し付加価値を提供しています。



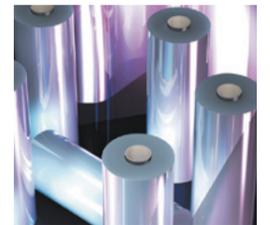
フィルムズ&モールドディングマテリアルズ 2020年度売上収益 **4,138** 億円※ 2020年度コア営業利益 **276** 億円※

フィルムズ パッケージング(食品包装材)、工業フィルム(産業・メディカルフィルム、OPLフィルム等)、ポリエステルフィルム

- パッケージング(食品包装材)、工業フィルム(産業・メディカルフィルム、OPLフィルム等)** 高分子材料設計、成形加工、表面処理、複合化等の各技術を最適に組み合わせることで、バリア性、耐水性、透湿性、易開封性等、さまざまな機能を付加した製品を、食品・産業・医療、ディスプレイ等の市場へ展開しています。
- ポリエステルフィルム** グローバルに拡大する工業・光学用ポリエステルフィルム市場に対する供給能力の確保と高度化するニーズへのソリューション提供を迅速に対応し、さまざまな工業製品の進化を支えています。

モールドディングマテリアルズ 高機能エンジニアリングプラスチック、炭素繊維・複合材料、繊維、アルミナ繊維、機能成形複合材料

- 高機能エンジニアリングプラスチック** エンジニアリングプラスチック素材のグローバルリーダーとして、産業機械、自動車、航空機、医療等幅広い分野で事業を展開しています。
- 炭素繊維・複合材料** PAN系およびピッチ系炭素繊維と、それを基材とした中間材料や成型加工品に至る一貫した世界屈指のプロダクトチェーンを実現しています。



アドバンストソリューションズ 2020年度売上収益 **3,089** 億円※ 2020年度コア営業利益 **171** 億円※

アメニティライフ アクアソリューション、ライフソリューション(食品機能材等)、建材関連

- アクアソリューション** ろ過膜、イオン交換樹脂等の機能分離材を通じ、飲料水から排水までの水処理と食品、医薬の製造プロセスでのソリューションをトータルに手掛けています。
- ライフソリューション** 世界トップシェアのシュガーエステルに代表される乳化剤、ビタミンE、カプセル等の製品群で、食品をはじめとする幅広い領域で、おいしさや健康の実現をめざして事業を展開しています。

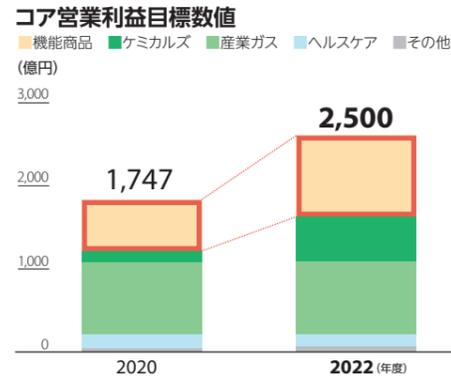
インフォメーション・エレクトロニクス 半導体、エレクトロニクス(ディスプレイマテリアルズ、光学用透明粘着シート等)、電池材料

- 半導体・エレクトロニクス** ディ스플레이向けの各種材料や半導体向けの高純度の製品や精密洗浄等、顧客のニーズに合った新たな価値を生み出す製品やサービスの開発・販売に注力しています。
- 電池材料** 高度化する顧客ニーズに対し、材料開発から安全性評価にわたる高い技術力とグローバル供給ネットワークをもとに、主に電気自動車に搭載する電池向けに電解液と負極材を展開しています。



APTSIS 25 step1

方針	<ul style="list-style-type: none"> ●事業拡大のためのビジネスモデル変革 ●社会ニーズ変化から成長が加速される分野への布石 ●価値提供が期待される次世代テーマの進展
主要戦略	<ul style="list-style-type: none"> ●モビリティ分野でのさらなる事業拡大とリサイクルビジネス構築によるトータルソリューションの提供体制強化 ●成長事業領域における事業強化 ●デジタル、オープンイノベーションを活用したR&D効率化推進 ●新規領域開拓、新規ビジネス創出のためのCVC活動

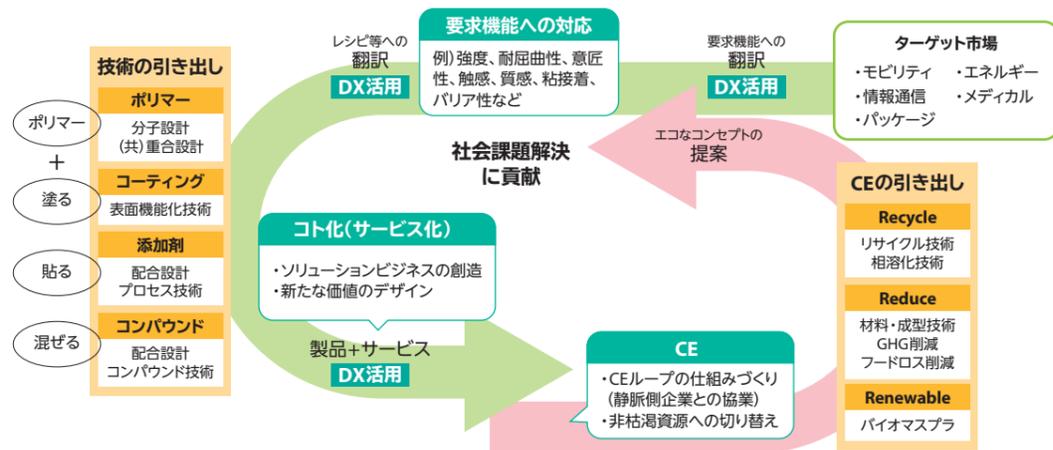


ポリマーズ&コンパウンズの主要戦略

モビリティ用途等のターゲット市場から寄せられる強度・耐屈曲性や意匠性、粘着性、バリア性などのさまざまな要求を、ポリマーや添加剤などの多様な製品群、技術のプラットフォーム(分子設計、コンパウンド、評価、プロセス技術等)により、新たな価値をデザインし、ソリューションビジネスを創出することをめざします。

またサーキュラーエコノミーの実現に向け、リサイクルしやすい材料や技術の開発に取り組む一方、リサイクルが難しいといわれる分野においては、生分解性製品のラインナップ拡充、生分解機能制御技術の開発などで環境への負荷低減をめざします。これらの事業活動を通して、社会課題解決に貢献していきます。

ポリマーズ&コンパウンズドメインがめざすビジネスフロー



フィルムズ&モールディングマテリアルズの主要戦略

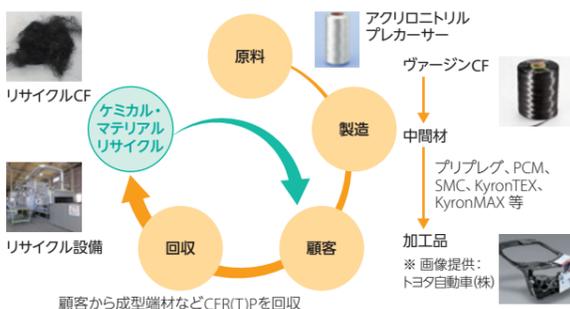
「軽さ」「薄さ」「強さ」「しなやかさ」。これらを持ち合わせたユニークな製品とサービスで、未来の楽しく豊かな生活と、循環型社会の実現をリードしていきます。

ポリエステルフィルム事業においては、長い歴史の中でグローバルに培った製膜技術と材料技術を用いて、ディスプレイや工業用ラベルといった光学・工業用途の発展に加え、自動車の電動化、高速通信、環境負荷低減といった社会ニーズ実現のための各種工業製品用途へのソリューション提供を通じて、グローバルでの事業成長をめざしています。さらに、リサイクル性が高いポリエステル樹脂の特徴を活かした環境配慮型製品の開発・提供を通じて、サーキュラーエコノミー社会の実現に貢献しています。

モールディングマテリアルズにおいては、高性能エンジニアリングプラスチックや炭素繊維複合材料など、高付加価値な製品を、自動車、航空宇宙、建築構造物や医療分野といった、さまざまな

産業用途向けにグローバルに提供し、事業の成長をめざしています。さらに、炭素繊維事業においては、リサイクル企業の買収などを通じ、原料からリサイクルまで一貫したビジネスモデルを持つ唯一の企業として、サーキュラーエコノミーの実現に貢献しています。

炭素繊維リサイクルビジネスモデル構築 ▶ P.29参照



アドバンストソリューションズの主要戦略

顧客価値を高める製品・サービスを提供し、事業の拡大とKAITEKIの実現をめざしています。

食と水関連においては、生鮮・加工食品のおいしさ向上とフードロス削減に向けたさらなる技術開発、飲料用から下排水までのトータルの水処理技術を活かした分散型水道や水処理関連サービスの強化に注力しています。医薬原材料やカプセル等へ

ルスカ分野でのソリューション提供やWell Beingな住環境実現に向けた製品群の開発も進めます。

ディスプレイ用途においては、光学用透明粘着シートや液晶および有機EL向け製品といった光学関連部材などの開発に注力しています。電池材料においては、高い特性と安全性が必要な自動車を中心に、リチウムイオン電池材料の競争力をさらに高め、グローバルな供給体制の強化を進めます。

Focus 主要戦略の一例：半導体関連事業の拡大 デジタル社会基盤への貢献をめざして

当社は、半導体製造に関連する製品やサービスといった幅広いソリューションの強化を進めています。

半導体関連事業拡大のため、2018年10月には、半導体メーカー向け精密洗浄やコーティングサービスなどで欧米におけるリーディングカンパニーの一つであったCleanpart Group GmbHを買収し、既存の日本・アジアに加え、半導体精密洗浄サービスをグローバルに提供する体制を構築しました。2020年4月には、三菱ケミカル内の半導体関連事

業を集約するとともに、グローバルな組織を立ち上げ、統一ブランドのもと半導体関連のソリューションをワンストップで提供しています。また、2020年10月に買収したGelest, Inc.が保有する半導体関連事業・技術とのシナジー創出も進めています。

当社は、中長期経営基本戦略「KAITEKI Vision 30」において「デジタル社会基盤」を成長事業領域の一つとして掲げており、今後も半導体関連事業の拡大を図っていきます。

先端材料開発と環境負荷低減サービスを組み合わせた半導体関連ソリューションビジネス拡大



※1 るつぼ用途 ※2 ArF:波長193nmの露光源 EB:電子線が露光源 EUV:波長13.5nmの露光源

環境・社会課題へのソリューション

- MCHCのマテリアリティ
- GHG低減
 - 持続可能な資源管理
 - サーキュラーエコノミー

塗装レスによりVOC(揮発性有機化合物)低減と機能付加に貢献するバイオエンブラ

三菱ケミカルの「デュラビオ」は、再生可能な植物由来原料であるインソルバイドを用いたバイオエンブラで、発色性が良く、顔料を配合するだけでつややかで光沢のある表面を作ることができます。さらに、表面が硬く擦り傷が付きにくいいため、塗装・コーティング工程が不要となり、製造時に塗料から発生するVOC(揮発性有機化合物)を低減できるだけでなく塗料による電波遮へいの懸念を避けることも可能です。

こうした機能面・環境面の特長は、特に自動車業界で高く評価され、内外装意匠部品に加え、車両や歩行者などを検知するトラックのレーダーカバーへの採用も進んでいます。当社は今後も「デュラビオ」の用途展開を通じて、環境に優しいクルマづくりに貢献していきます。

「デュラビオ」自動車内外装意匠部品(塗装レス)採用例



メーカー	ダイハツ工業(株)
車種	ロッキー
部品名称	ステアリングスイッチベゼル